



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

4月号 APR 2018

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

府県産契約玉葱収穫まであと1カ月半！

桜の開花が今年は随分早い年でした。あるテレビ番組での情報ですが、桜の開花時期が大きく変わってきているそうです。2000年以前は4月1週目が開花の平均だそうです。2000年代に入ると3月最終週が平均となるそうです。入学式に桜が咲くというイメージから現在は卒業式が桜の時期となってきているということになります。

ソメイヨシノの開花は積算温度で予想ができるということですが、開花が早まっているということは早い時期から温度が高くなってきているということになります。昨年来冬は寒さがきつく、雪も非常に多い年でした。しかし、一気に温度が上がり春になってしまったというように感じます。この前まで関東でも雪が降っていたのに…と。本当にここ数年は春と秋が一瞬で過ぎ去っていくような感覚があります。単純に年を取って時間の経過を早く感じているだけでしょうか。

昨年11月から続いていた野菜の高騰も春の訪れとともに落ち着いた状況となってきました。気温の上昇とともに、これまで停滞していた野菜の生育も一気に進み、遅れていた産地、これからの産地、それぞれが一斉に出荷スタートとなったことから、需給のバランスが崩れて一気に底値に移行しているような状態です。こんな時こそ報道各社は野菜の需要喚起を行って、価格バランス維持に貢献して欲しいと思うのです。この業界の皆さんが感じていることでしょうか。

玉葱についても九州産地の極早生タイプを中心に出荷がスタートしています。これまでの低温傾向により遅れていた中・晩生タイプの生育が追い付いてきたように思います。府県産の玉葱は各産地5月GW明け頃から収穫となってきます。残り1カ月半となります。これからの1カ月が玉肥大期に入りますので、順調な天候を期待したいと思います。

弊社契約産地様、唐津地区には3月16日に中村が訪問させて頂き、作況確認をさせて頂きました。ベト病が各圃場若干入っている状況ですが、防除の徹底を確認しています。しっかりと対策を取って良い収穫を迎えられることを期待しています。また、関東産の動向としては、苗時点での干ばつが非常に悪影響を及ぼしているように思います。3月22日に前橋地区の玉葱を見てきましたが、回復はしてきていますが、生育はまだまだという印象です。首の太さや葉の枚数から若干小玉の傾向となるように感じました。

4月以降は気温が平年よりずいぶん高めで推移するとの予報も出ています。適正な天候推移を期待し、30年産府県の玉葱が順調に収穫できるように祈るばかりです。



3月16日 唐津 圃場



3月22日 前橋市 圃場

“食”の分野で役立つマーケティング情報

「日本一高い牛乳」には、訳がある。この言葉に興味を持ち、その牛乳を飲んだことがあります。720ml入りでなんと1,188円（税込）です。普段はスーパーやコンビニでブランドにもこだわらないで安い牛乳を買って「美味しい」と飲んでいる私にとって、「その味はまさに驚きでした！」と言いたところでしたが、思ったよりも濃くもなく飲んだ瞬間はさらりとして「うん？こんなものかな。。。。」というのが正直な感想でした。

しかし、牛と飲む人の幸せを考えて、山で牛を完全放牧をしながら牛乳を生産するこの牧場のホームページや印刷物は写真はもちろん、書かれた言葉も素晴らしく、「山地酪農 24時間365日の自然牧場」、「しあわせな牛からおいしい牛乳」といったコピーには心を動かされます。これらを見ながら飲むと、もっと美味しく感じたのかもしれません。

地方ではすっかり「ゆるキャラ」が定着していますが、その火付け役と言えば滋賀県彦根市の彦根城四百年祭のキャラクター「ひこにゃん」です。当初はまったく注目されておらず、ある女性プロデューサーが人を集めるには女性を呼ぶのがセオリーと考え、女性をひきつけるものを探していると、彦根市が四百年祭に合わせつくった「ひこにゃん」に目を留め「これは、カワイイ。これだ！」と。市が考えていた彦根城ではなくひこにゃんを主役にイベントをPRすることにして大成功だったそうです。

これだけモノやコトが溢れている世の中で、どうやったら人がそのモノを買い、コトに足を向けるのか。情報を伝えるだけでは、人はなかなか動きません。「かわいい」「きれいだな」「素敵だな」などと思えば、無条件に買ったり行ってみたくなる。「日本一高い牛乳」や「ひこにゃん」のエピソードは「情」を突くことによって、人は自ら動くということを教えてくれています。人が自ら動くように雰囲気やイメージをどのように作っていくべきなのか。広告の力が以前のように通用しなくなっている今の時代、常に考えなければならないのではないのでしょうか。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。

<http://www.kino-company.com>

営業課長中村のマルト便PLUS！Ver2018

4月のマルト商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産、終盤に近づいておりますが、品質数量ともに順調に入荷。サイズはL大中心です。府県産玉葱は5月下旬から本格的に始まりますが、関東東北は今後の巻き返しに期待(巻き返して平年作か)、日本海側の産地は不作傾向、山陰、四国、九州は巻き返しに期待ですが生育遅れが発生しており、全体的に豊作傾向にはならない見込です。
中国	甘粛省産の終盤、品質劣化が見られますが、検品注意しお届けします。4月中旬から雲南省産へ切り替えます。雲南省産は平年作、相場は安め(甘粛省産が余っているため)、その後の山東省産は作付面積1割ほど減とのこと。
NZ(黄玉) オースト(赤玉)	NZ産玉葱は、過去最悪の不作。既に輸入されている玉葱では大規模な品質不良が発生しているとのこと。弊社入荷の生産者は品質問題なし。サイズは例年より小さめです。NZ産の不作もあり、今季輸入赤玉葱はオーストラリア産を使用します。4月下旬からスタート予定です。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315